

さいたま市立植水小学校

〒331-0057 さいたま市西区中野林 2 2 5 - 1

TEL 048-624-4235

FAX 048-624-2280

Web ページ <http://uemizu-e.saitama-city.ed.jp/>

E-Mail uemizu-e@saitama-city.ed.jp

令和 6 年度 7 月号 令和 6 年 7 月 1 日 発行



学校だより

～ 創立 136 周年

自信をもって、大きく成長

さいたま市立植水小学校
校長 保坂 泰司

今日から 7 月となりました。暑い日が続きます。体調管理には十分気を付けてお過ごしください。子どもたちはと言いますと、この暑さに負けることなく、汗をいっぱいかきながら活発に校庭や校舎内で活動しています。たくましく成長して行ってほしいと願います。また、今月下旬から夏季休業日が始まります。お子様にとって有意義な夏休みになるよう、前もって「夏休み」についてご家庭で話題にしていただけたらと存じます。

さて、5 年生は、先月の 6 日から「たくさんの自然と触れ合いながら、みんなで協力し最高の思い出を作る」ために 2 泊 3 日で福島県南会津郡にある「館岩少年自然の家」に行ってきました。天候にも恵まれ、予定していた活動(キャンプファイヤー、登山など)は、すべて行うことができました。

活動のひとつである、キャンプファイヤーのときに、感心させられた出来事がありました。それは、櫓(やぐら)に火をつける役の子どもたちが「緊張する～」「緊張するのはいいことだ。」と互いに声掛けあっているのを耳にしたことです。たいまつに火をつけ、櫓に火をつける。さらに、その際に大きな声での呼びかけもしなければならぬ。失敗はできない。緊張するのは当然だと思います。本番では、見事に彼らは堂々とした態度で自分に与えられた役割をしっかりとこなすことができました。館岩から帰ってきて、彼らにキャンプファイヤーの時のことを聞いたところ、『緊張から逃げずに場数を多く踏んでいくことで、「自分はやれる」という自信をもつことにつなげていきたい』と語っていました。子どもたちには機会があるごとに「緊張することはいいことだ。こういう時を多く経験するべきだ」と言ってきた私も頭が下がる思いでした。植水っ子たちには、緊張に対して逃げることなく立ち向かいながら大きく成長して行ってほしいと願います。「がんばるぞ、植水っ子!!」

その他、食事の準備や部屋の整理整頓の際など、互いに声を掛け合い協力しながら取り組む子どもたちの姿を存分に見ることができた 3 日間でした。仲間と協力することで、ひとりではできないことでも成し遂げることができると実感したことと思います。今回の自然の教室での経験、これを自信にこれからの学校生活を充実したものにしてほしいと願います。

最後に、先月は「いじめ撲滅強化月間」として、いじめをなくすために全校でさまざまな取組を行いました。引き続き、いじめ撲滅のために、学校生活の中で「いじめを許さない環境づくり」や「互いを尊重し合う心の育成」などを大切にしていきたいと思います。ご家庭でお子様のことで気になることがある場合は、すぐに学校へ連絡をお願いいたします。

祝 植水小学校 開校 136 周年 !!

今月の 3 日は、植水小学校開校 136 周年となります。明治 5 年に「学制(教育を充実させることで、国民の知識を高め国家の近代化を図った)」が制定されました。翌年、水判土村の「慈眼寺」に「水判土学校」、植田谷村の「林光寺」に「植田谷学校」が開校されました。その後、しばらくたった明治 22 年に「町村令」が施行され「植水村」が誕生しました。その「植水村」の 7 つの区域のうちの植田谷と水判土の頭文字をとって、その年の 7 月 3 日、林光寺に「植水尋常小学校」が設立されました。つまり、136 年前の 7 月 3 日に、現在の植水小学校の第一歩が踏み出されました。



